



第1号 2001.1.1  
発行所：神戸市サッカー協会  
〒651-0085 神戸市中央区八幡通2丁目1-10  
三木記念神戸市立スポーツ会館内  
TEL(078)232-0753 FAX(078)232-4647  
発行人：神戸市サッカー協会広報委員会  
発行責任者：高見 豊



協会広報紙「神戸のサッカー」復刊にあたって

神戸市サッカー協会  
会長 皆木 吉泰

新年あけましておめでとうございます。

21世紀の幕開けと同時に、協会広報紙「神戸のサッカー」を復刊するはこびとなりました。

会員の皆様とともに喜びあいたいと思います。

「神戸のサッカー」は1990年1・2月号 NO.187をもって、協会事業の増加や担当者の多大な労力のために休刊されておりました。

1990年までは、新聞紙上では大きな大会の結果報道などもありましたが、当協会事業・大会結果はあまり詳しく報道されていませんでした。「神戸のサッカー」が協会の動きやローカルなニュースを提供しており、会員の皆様に長く親しまれておりました。

長期に亘る休刊で、近年、「神戸のサッカー」を復刊して“協会の動きや会員相互の情報等を知らせてほしい”との声も出るようになってまいりました。

このことを受けて、広報委員会の設置や常務理事会で議論して頂きました。

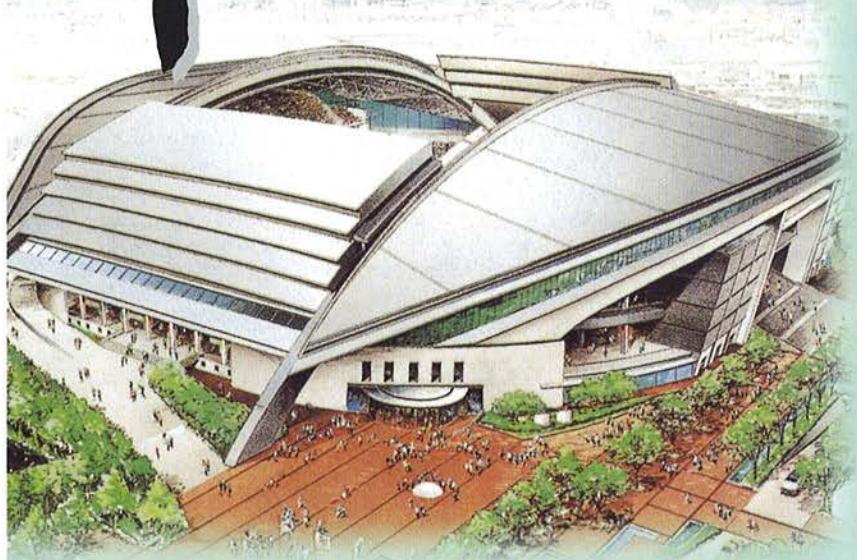
これから2002年FIFAワールドカップの開催や、2006年兵庫国民体育大会が予定されています。また、VISSEL KOBEの支援・協力や協会のより発展が望まれるところです。協会広報紙「神戸のサッカー」が会員相互の心のよりどころとなるように、またサッカーの街神戸、サッカー王国神戸・兵庫の再現に貢献出来るよう願っています。

復刊にあたって、ご協力を頂いている企業の方々には深くお礼申し上げるとともに、皆様のご協力を得て末永く発刊出来るように念願しております。

ご支援、ご協力を心よりお願い申しあげます。

# 神戸のサッカー

昔むかし、月刊「神戸のサッカー」は発行されていた。  
その人が、この人が活躍し、やがて神戸にプロチームができる  
子供達の夢がひとつ・ひとつかなえられてきた。  
IT時代の今、サッカー大好き人間達が心ひとつに  
2002年W杯神戸開催に夢膨らませ21世紀へキックオフ！





## 広報紙“神戸のサッカー”復刊にあたって座談会

### ■出席者(敬称略)

一北 四郎 (元市協会理事長)  
林 幸男 (FC成徳代表)  
加藤 寛 (ヴィッセル神戸)  
黒田 和生 (滝川第二高校監督)  
和田 昌裕 (ヴィッセル神戸)  
石末 龍治 (ヴィッセル神戸)  
高見 豊 (神戸市サッカー協会理事長)  
藤井さち代 (仕掛け人)



(藤 井)

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。私自身以前発刊されていました「神戸のサッカー」によって、サッカーの素晴らしさ、楽しさを教わりました。それが休刊されたときは、非常に寂しく感じられましたが、この「神戸のサッカー」の復刊を提案し、周りの皆様のご理解とご協力により2001年1月無事発行することに至りました。今回は、この「神戸のサッカー」発行時から今に至るまで、神戸の中心となってサッカーの発展に尽力されておられる皆様にお集まりいただき、当時の苦労話や21世紀に向けての思いなどを語っていただきたいと思います。

(高 見)

今お話がありましたが、私自身も神戸市サッカー協会の理事長を引き受けてから、何とか機関誌の復刊が出来ないか、と願っていました。というのも神戸市サッカー協会に所属するチームの皆様が、全体を知る機会というのではなく、広報という手段が必要である、という認識は持っていましたが、他の事業に忙殺され、なかなか立ち上げることが出来ませんでした。もう一つ、私には神戸市サッカー協会としてのグラウンドを持ちたい、という希望もあります。今回そのひとつがかなうれしく思っています。

(加 藤)

私自身「神戸のサッカー」には当初から係わった一人ではあります。この機関誌は神戸だけでなく、兵庫県のサッカー全体会のニュース媒体だったと思います。当時は今回も同様だと思いますが、各種委員会からのニュースを元に編集会議を開き記事を決めていました。今はワープロやパソコンなど便利な道具がたくさんありますが、当時は集めた記事を原稿用紙に書き直し、切り貼りしながら校正していました。それ故、手伝ってくれた人にはほんとに苦労をかけたと思います。最後の方はそれそれが忙しくなって、ついに休刊となってしまったのですが、今回復刊すると聞いて大変うれしく思っています。是非継続していくって欲しいと思いますし、私もお手伝いできるところは協力させてもらいます。

(一 北)

「神戸のサッカー」を始めたきっかけは、清水市の協会がすでにこのような機関誌を作っていました。その後、ユーハイムさんなどにバックアップしていただきましたが、こういったスポンサーの協力なしではうまく回らないなあ、と実感しています。今の時代は企業のスポーツ協賛からの撤退が相次いでいるし、難しくなっているなあとも思います。先ほどの加藤さんの話にありました。今は記事もいっぱいあるし、インターネット、パソコン、FAXなど環境はいいと思っています。

やる気と財源さえあれば何とかやっていくのかなあ。当時も費用を切りつめるために第3種郵便を活用するなど、色々工夫しました。そういう工夫を行なながら、多くの人に読まれるように継続していく欲しいと思います。

(藤 井)

苦労話は色々あり当時の様子が伺えますね。復刊を願った理由はいくつかあります。年齢、性別を越えた繋がりがもっとあってもいいかなと思いました。お母さんのサッカー教室でお世話になりました林先生いかがですか?

(林)

1985年5月から「お母さんサッカー教室」を10年間開催出来たことは良かったですね。私自身は1980年代に機関誌の方も手伝っていました。みんなの協力もあって楽しい思い出がたくさんありますねえ。

(一 北)

みなさんが期待されている分、作る方としては大変でしたねえ。特に神戸フ

### 《復刊への経緯》

- ☆ 6月17日：“神戸のサッカー”復刊提案
- ☆ 7月27日：市常務理事会にて提案準備
- ☆ 7月31日：広報委員会準備会発信
- ☆ 8月 8日：第1回広報委員会準備会開催
- ☆ 9月 6日：準備会小委員会開催
- ☆ 9月19日：第2回広報委員会準備会開催
- ☆ 9月28日：市常務理事会にて提案・承認
- ☆10月17日：第1回広報委員会開催発足
- ☆11月21日：第2回広報委員会開催(詳細準備)
- ☆11月30日：市常務理事会にて提案・承認
- ☆12月 2日：広報紙復刊記念座談会
- ☆12月中旬：“神戸のサッカー”復刊記念号編集印刷(予定)
- ☆2001年1月1日：“神戸のサッカー”復刊(予定)  
(ホームページ&広報紙併設)  
(HP毎週更新&広報紙年4回発行目標予定)



一北 四郎

ットボールクラブのみなさんには大きな負担をかけたなあ、と反省しています。  
(黒 田)

私は、みなさんが作ってくれた機関誌の愛読者だったので、今も記事を見ていると、当時のことが思い出され、懐かしい感じがします。

(石 末)

ほんと、みなさんお若いですねえ。別人のようですよ。(笑)

(黒 田)

今度また復刊されるということですが、「神戸のサッカー」という限りは、神戸ローカルを中心に、ローカルだけどいいものを続けていって欲しいなあと思います。神戸にプロチームもできていることだし、私たちとしては、いい選手を作っていくなあと思っています。

(和 田)

今こうやってバックナンバーを見ていると、自分のことが多く取り上げてあって、うれしいなあ、と思うし、懐かしいですね。私もこの機関誌は毎回楽しみしていました。というのも、小さな大会の記事も出ているし、それが励みになりましたからね。ただ、今までの話を伺っていて、作る人の苦労は大変だったんだなあ、と思います。

(石 末)

私は伊丹に住んでいたので、この機関誌自体知らないかったんですが、バックナンバーを見ていると、神戸のサッカーの歴史そのもので、非常に貴重なものだと思います。私たちが国体で優勝したときのことも載せていただいているし、歴史を語り継いでいくため、大変貴重なものだと思いますので、是非頑張って続けていって欲しいなあと思います。また、こういった、神戸のサッカーの発展がヴィッセル神戸にもつながると思うし、ヴィッセル神戸のいい記事を載せられるようにしたいですね。

(加 藤)

そうですね、歴史を記録し、そしてそれを続けていくことが大事だと思います。こういうことを積み重ねていくことで何かが見えてくると思います。私は、この機関誌に係わったことによってサッカー観が高まり、全体を見る目を育ててくれた、と今でも思っています。

(黒 田)

この機関誌は、読んだ人がさらに頑張ろう、という動機付けになっていたことは確かですね。ポイントをどこに置くのか、照準をはっきりさせてユニークなものにしてもらいたいなあ、と思います。また、チームのことですが、携わっている人にも焦点をあてて欲しいですね。人間クローズアップみたいな感じで。

(藤 井)

今回広報紙としての構成は、運営する人に焦点をあてた人の繋がりのコーナーも考えています。ホームページと併せての計画ですので、そういう意味では双方をうまく考えていきたいと思っています。

広報紙のことですが、当時の記事を読んでみると、当時こうあったらしいなあ、と言われていたことが、少しずつ実現されているような気がします。プロチームということでヴィッセル神戸があるし、少年の育成ということではトレセン制度が確立されていたり、また、「神戸市少年サッカーを励ます会」(各団育成会の連合体のようなもの)もできて4年となりました。

(石 末)

そうなんですね。今最新だと思っていることが、当時すでに考えられていたりしていますね。そういうことからして、何かに行き詰まつたとき、振り返ることの出来るものだなあと思います。人の繋がり、ということとは関係ないかも知れませんが、人を載せること、



黒田 和生



林 幸男

黒田 和生

写真でも、記事でもいいのですが、載っていると子供にとって非常にうれしく感じますし、是非、そうしてもらいたいと思います。

(和田)

自分もそうでしたが、自分が出ているというのはすごい刺激になるし、よし次も頑張るぞ、という気持ちになります。私も石末さんの意見に賛成ですね。

(一北)

少年などに対して、技術の上達法などの記事っていうのもいいかも知れない。また、社会人については今企業チームからクラブチーム化してきており、こういったクラブチームのあり方、継続の仕方等の記事が有効ではないかと思います。まあ、クラブチームについても最近は同じ母体(例えば高校OBなど)を持ったチームが出来て消え、ちょっとどうかなあ、と思うこともあります。ただ、20年前にサッカーをやってた人たちが、今指導する立場に立っており、そういう人たちのヒントになるような情報はどんどん提供していって欲しいと思います。

(加藤)

こんな事例もありますよ。もちろん神戸で少年時代サッカーをやってた人なんですが、大学を卒業し、出来たら神戸でサッカーをし、引退後は神戸で少年の指導に携わりたいと思っていたらしいです。ただ、伝がなく、四国でサッカーを続けていたら、ある時ひょんな事から「神戸のサッカー」を見て、三菱重工サッカーチームが部員を募集している記事を見つけ、すぐ電話して応募したということなんです。今、少年の指導でよく顔を合わせのですが、「神戸のサッカー」の記事がなかったら、今ここにこうしていたかどうかわからない、と言っていました。サッカーに選手としてとか、指導者としてとか、少しでも係わりたい、という人たちのためにも、記事のこともですが、多くの人たちの目にとまるように配布範囲を広げて欲しいと思います。

(一北)

そういう意味からも、神戸新聞やラジオ神戸など、神戸の色々なマスコミ関係などとも繋がりを持つことも必要でしょうね。

(加藤)

神戸新聞では、試合結果などを取り上げてもらっていますが、広報紙「神戸のサッカー」としては、一般に取り上げられないような記事も載せて欲しいですね。

(黒田)

取り上げて欲しいもの、ということでは、フェアプレイに関することをどんどん取り上げて欲しいと感じます。というのも、こんな大事なことが、あまり一般紙では話題に上らないからです。是非これは取り上げていただきたいですね。逆にマナーの悪いチームも出したらどうですかね(笑)。

(藤井)

過激な意見も飛び出していますが、ちょっと話題を変えて、永島選手の事ですが、最終戦はほんとに感動しましたね。ミスター神戸永島選手の引退は非常に残念ですが…

(和田)

彼とは長い間一緒にやってきましたけど、彼くらい長く現役を続けた選手もそういうものではないですか。引退の試合でみんな劇的なゴールを決めるなんて、彼は神戸の宝でもあるし、是非これからも「神戸のサッカー」で取り上げて欲しいと思います。

(藤井)

石末さん、和田さん、永島選手にも加わっていただき、今後「神戸のサッカー」にもご協力お願いできますか。

(石末)

何とか、記事が載せられるよう頑張ってみます。

(加藤)

神戸、ということでは、ワールドカップの開催も控えており、ワールドカップのコーナーも必要でしょうね。ボランティアのことや、スタジアムのこと、JAWOCのことなど、新たなファンを呼び起させるようにしたいですね。

(高見)

いずれにしても、21世紀は神戸市サッカー協会にとってもワールドカップ開催など大きな行事を控えていて、多くの人たちの協力と応援を必要としている事は間違いないと思います。そんな、21世紀の幕開けに広報紙とホームページを立ち上げることが出来、本当にうれしく思っています。こういう広報活動を通じて、多くの人たちにサッカーを理解していただき、そしてスタジアムに足を運んでもらい、応援していただく、そういうようにしていきたいと考えています。

(藤井)

最後に理事長にまとめていただきました。本日お越しの方のほか、当時ご苦労いただいた方に上野さん、村上先生、岡さんがおられます。広報の方では、先ほどもご紹介させていただきましたが、広報紙とホームページを併せて活動していくたいと思います。広報紙「神戸のサッカー」によって、より多くのサッカー愛好者が増えることを祈願し、色々なご意見をお聞かせ願えれば、と思います。本日はお忙しい中、貴重なお話をいただきありがとうございました。

(敬称は略させていただきました)

# ひっちさいど



## 社会人(1種)

神戸市社会人の登録チームは、Jリーグから神戸市リーグⅣ部まで分かれています。

Jリーグといえば、みなさんご存じの「ヴィッセル神戸」、Ⅳ部には会社のチームやどこかのOBチーム、そして平均年齢??歳の「もののけ2000」などいろんなチームがあり、みんなピッチの内外でサッカーを楽しんでいます。

現在の神戸市協会登録チーム数は、Jリーグ1チーム、関西リーグ1チーム、県リーグⅠ・Ⅱ部5チーム、市リーグⅠ～Ⅳ部132チームと計139チームもあります。

今後の行事として、神戸市社会人リーグチャンピオンを決める、「リーグカップ」を2001年1月7日から3月23日の間に開催します。

●「来年度、神戸市社会人リーグに登録するぞ!」という方は、2001年1月18日(木)までに神戸市サッカー協会にご連絡下さい。

## 高校生(2種)

神戸市の高校サッカーは1部から4部に分かれ、各10チームのリーグで進めています。2001年度の入れ替え戦は既に行なわれ、新年度は下記の組み合わせで行います。

また、「神戸市高校サッカー新人大会」を昨年12月23日より行っており、各チームとも新体制での大会ではあります。

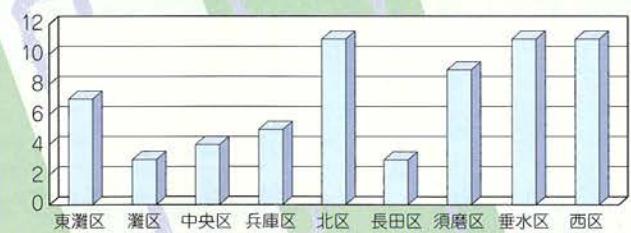
### ■2001年度神戸市高校サッカー春季リーグ組み合わせ

- |    |   |
|----|---|
| 1部 | A 神戸高塚・ヴィッセル・長田・星陵・御影<br>B 滝川第二・神戸国際附・神戸弘陵・兵庫・御影工 |
| 2部 | A 須磨友が丘・須磨東・六甲・舞子・鈴蘭台<br>B 神戸朝鮮・夢野台・滝川・六甲アイ・萱合    |
| 3部 | A 育英・伊川谷北・北須磨・神戸・市神戸工<br>B 神戸北・神戸甲北・鈴蘭台西・須磨・神戸西   |
| 4部 | A 神戸高専・兵庫商・神港学園・東灘・神戸第一<br>B 市神港・灘・兵庫工・伊川谷・村野工    |

## 中学生(3種)

1 今年度は64チームが登録しています。下のグラフからわかるように社会現象で呼ばれている『少子化』『ドーナツ化』が旧市街地に顕著に現れています。

### ■各区別チーム登録数



### 2 今年度の主な大会結果

市民大会(4月・5月)	優勝 舞子中学校 準優勝 本山中学校 第3位 星和台中学校・有野中学校
中学校総合体育大会(7月)	優勝 有野中学校 準優勝 鈴蘭台中学校 第3位 長坂中学校
県中学生選手権神戸予選(9月)	県大会代表チーム 星和台中・神戸FC・フレスカ神戸・長坂中 ヴィッセル神戸・鈴蘭台中・舞子中・瀬谷中



## 小学生(4種)

●2000年度少年サッカーリーグ優勝決まる!  
昨年4月から行なってきました神戸市少年サッカーリーグの順位が決定しました。  
輝く2000年度の有終の美を飾ったのは次のチームです。

### ■(男子)1部

優 勝: 神戸NKSC  
準優勝: 神戸FC  
3 位: 若草少年SC、箕谷SC

(1部優勝の神戸NKメンバー)  
樋口 勇紀、安田 龍希、武井 逸平、  
眞野 裕豊、津田 貴史、津田 敦史、  
田中 大滋、菊池 亮、高田 翔矢、  
松本 亨輔、金田 和樹、秀 直樹、  
香川 真司



■(女子)4部  
優 勝: 多井畑FC  
準優勝: 本庄FCガールズ  
3 位: 八多FC、  
4 位: 高倉台SC



(4部優勝の多井畑メンバー)  
岩本 飛鳥、浜田 歩、萩原 礼子、  
西川 さやか、八代谷 はるか、  
壱井 綾子、岩室 いづみ、  
濱崎 麻里奈、高木 彩加、  
岡田 優芽

### 【今後の行事】

- 神戸兵庫ライオンズクラブ杯春季新人戦(1月)、あじさいライオンズクラブ杯(2月)を予定しています。
- 「2001年、初蹴り大会!」を1月6日(土)しあわせの村(土グラウンド)で開催します。すてきな景品を用意しています、ふるってご参加下さい。

## 女子(5種)

全国大会で兵庫県の代表として戦うのは、神戸エンジェルです。  
神戸市リーグに所属する少女チーム22チームの中から選抜された17名の6年生の女子で構成されています。このチームをまとめあげるのは、本庄FCガールズの杉坂総一氏。限られた時間と経費の中で東奔西走してグラウンドを確保し、このチームを作りあげてきました。

兵庫県女子サッカー大会で21チームの頂点に立ち、関西大会に出場、そして全国大会へ。全国大会は3月に熊本県で行われます。みなさん応援よろしく!



## 2001.1.17 チャリティマッチ

ヴィッセル神戸  
OB・現役選抜  
吉本興業  
スポーツプロジェクト  
VS  
元日本代表  
ザ・ミイラ

ヴィッセル神戸からは…

永島 昭浩・和多田 充寿・森 一紘

谷池 洋平・大島 康明

石末 龍治・和田 昌裕・内藤 潤・神野 卓哉

雨上がり決死隊(宮迫) ベナルティ(中川・脇田)

ライセンス(井本) 野性爆弾(城野) 次長・課長(河本)

ハリガネロック(松口) 太平 マサヒコ 他

元日本代表/ザ・ミイラからは…

望月 三起也(漫画家) 椎名 桃平(俳優) TAKUYA (JUDY AND MARY)

岡山 哲也(名古屋グランパス) 堀池 巧(元日本代表) 水内 猛(元浦和レッズ)

前田 治(元日本代表) 宮本 征勝(元日本代表) 長江健次(タレント)

島崎 俊郎(タレント) 宮下 直紀(タレント) 他

さらに、あの名選手が、あの芸達者が、あの名物男が、神戸ユニバーのピッチに立つ。



ヴィッセル神戸  
**永島昭浩**さんからの  
メッセージ

## 「ありがとう神戸」

「神戸のサッカー」の復刊おめでとうございます。

私が千歳小学校ではじめてボールを蹴った時にはすでに創刊されており、太田中学・御影工業高校時代には発行を楽しみにしていました。

私がプロの道へ進む事を励ましてくれたのも「神戸のサッカー」ですし、有り難く思っています。

もう発行されないと知った時は寂しく思いましたが、今回復刊される事となり大変喜んでいます。スタッフの皆様は大変だろうと思いますが、又、以前のようにサッカー少年を励ます後ろ盾として神戸のサッカーが続く限り、永く続けて頂くようお願いします。

縁は不思議なもので「神戸のサッカー」に励ましてプロの道に入った私ですが、引退を決めた年に復刊されるという事は、私の代わりに表舞台に出てくれる印象を持ちました。

今後私も「神戸のサッカー」の為に、出来る限りの協力を惜しません。

益々のご発展を祈ります。

## は~ぶたいむ

### 499日前記念イベント?

2001年1月16日は、日韓ワールドカップの開幕までもう500日になります。

500日前イベントは、各開催地においてもさまざまな企画があり、いよいよワールドカップが近づいてきたんだなあと実感することでしょう。

でも神戸の500日前イベントは、皆さんボスターでご存知のとおり、1月17日に行われます。

「ええ! でもそれじゃあ500日前とちゃうやん。」なんでしょう?

1月17日は神戸市民にとって特別な思いがある日です。6年前の1995年1月17日はあの阪神淡路大震災の日です。そして2001年1月17日は「神戸21世紀・復興記念事業」が始まる日です。

「神戸21世紀・復興記念事業」は、震災から6年を経て、21世紀へと歩み始める2001年に、人が輝き、まちが輝く神戸から国内外に震災支援への感謝の気持ちを込めて、復興がひとつの段階にきたことをお披露目する記念事業だそうです。

この日から9月30までの257日間、神戸市内一円を会場として「神戸21世紀・復興記念事業」が開催されます。

2002年FIFAワールドカップTM神戸開催の意義のひとつにも、世界に向けて震災支援への感謝の気持ちを発信することが掲げられています。ですから21世紀復興記念事業の始まりの日に500日前記念イベントとしてチャリティマッチを開催することになったのでしょうか。他の9会場より1日遅い500日前記念イベント開催には、意味があったのです。(韓国での開幕戦の日程が6月1日から5月31日に変更にならなかったら、ちょうど500日前になるはずでした。)

せっかく開催される21世紀・復興記念事業ですから、翌年のワールドカップ開催に向けての気運を高めるチャンスです。神戸のサッカーファミリーとして、イベントへの関わりを通して、人と人の輪を広げてみたいものです。



## 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

PM7:00 KICK OFF!!

### ■チャリティマッチ前売券(消費税込)

\*小学生以下自由席無料 \*当日券は表記価格の500円増となります。

○SS指定席 2,500円

○M自由席 2,000円(メインスタンド)

○A自由席 1,000円(ゴール裏・バックスタンド)

チケットに関するお問い合わせ

兵庫県サッカー協会

078-232-0753

# ひっさいど

## 規律・フェアプレー



このチームは「マナーが良いなあ」「紳士的なチームだよなあ」とか逆に「会場に来てゴミは捨てるし、ルール守らんなあ」「試合中、反則多いなあ」というチームを取り上げて行きます。

## フットサル



神戸市協会主催の大会はあまりありませんが、神戸市のチームが多数出場しています。「頑張ってる情報」を満載していきますので、ぜひ出場チームは名前が載るように頑張ってください。

## 技術

技術委員会では、「サッカー王国神戸」の復活を目指して、一貫指導プロジェクトの発足や指導者講習会の開催など、選手の強化・指導者の養成等年間を通してさまざまな活動をしています。

今年度の主な活動予定として

- ◆社会人◆ 県都市対抗(2月から3月)
- ◆高校生◆ 冬季県民大会(2月)
- ◆中学生◆ 県中学選抜大会(3月)

# する～ばす

## 医事委員会編



医事委員会委員長  
**益子秀久**  
(益子整形外科院長)

神戸の街のお医者さん!  
一見取っ付きにくそうだが、実はとても親しみやすいドクター。

ご自身のサッカー歴をお尋ねすると“中学生の頃兄がサッカーしてたから自然とやるようになった”と、“兄貴”を尊重する。

それもそのはず…益子産婦人科院長の益子和久氏は1993年「プロサッカーチームを神戸に!」と“市民の会”を結成、副会長としてご活躍。VISSEL KOBE誕生のルーツと言える。

現在も神戸ドクターズチームに所属、兄弟で選手としてご活躍中!

縦横無尽にピッチを駆け回り、ハッスルプレーの後はお決まりの“ビール!ビール!”ニコニコ顔でサッカー談議に花が咲く。年に2回程ママさんチームとも対戦。

皆が元気で年齢性別を越えた繋がりを持つ…これもサッカーの良さ!

スポーツドクターとして地域での信頼は厚く“先生のファン”と言う部活動の女子学生(?)も多い。医事委員会のみならず事業委員会・講演会等、休診日も実に多忙。“少年サッカーを励ます会”では毎年講演開催希望の声があがっている。

先生からひとこと…

“昨秋、日本で初めての医師会のサッカーチーム(須磨区医師会サッカー部)ができ、初めてサッカーをされる先生、30年振りの先生など15名程が参加し対外試合をしました。結構サッカーの好きな医者も多いですよ!”

ケガは良くないけれど、もしもの時は是非…  
☆次回は審判委員会へスルーバス!☆

◎する～ばすコーナーでは、活躍の人物・チーム紹介をしてバスをつないでいきます!お楽しみに!◎

## 合宿・遠征をサポート致します

ご希望にあったプランをご提供いたします。

## チームの遠征バス・合宿のグランド・宿舎手配

単独の合宿だけではなく、合宿先での交流試合をお望みのチームに…

## 合同交流合宿



## 冬は... SKI & SNOWBOARD

☆星ランク&対象別表示で宿の空き状況がすぐわかるホームページ

「<http://www.nichireku.com>」を開設。

ただ今、「冬山&リゾート」パンフレット無料進呈中!!

◆小学生◆ ニューカーイー・海南選抜大会(1月)県都市対抗(2月)

津山スプリングフェア(3月)

韓国遠征(3月)

◆少 女◆ ニューカーイー(1月)神奈川選抜大会(2月)

◆マ マ◆ 西日本医師会サッカーワーク

また、3月20日に社会人から小学生まで全種参加のトレセンフェスティバルを磯上グラウンドにて開催します。

## 医事

### 《ワンポイントアドバイス》

打撲・肉離れ・捻挫の応急処置にはRICE療法を用いる。

■RICE療法とは

R(Rest: 安静)、I(Ice: 冷却)、C(Compression: 圧迫)、E(Elevation: 高挙)による応急処置の原則である。

1.無理をしてプレーを続けると怪我は一層悪化するため、まず安静にする。

2.氷で冷やす。(皮膚の感覚がなくなるまでの20~30分ぐらいで一時中止し、痛みが戻ったら再び冷やすか、その後は氷にタオルを巻いて冷やし続ける)

3.出血や腫れを抑制するため伸縮包帯などで圧迫を加える。

4.患肢をできれば心臓より高くする。

## 審 判

サルでもわかるルール説明や、こんなのが出来ればひとつ味違うフレーなどを掲載していきます。

講習会・研修会については、ホームページをご覧下さい。



## 女子委員会編



### “ママさんサッカー全国大会出場! 清水へ!”

“え? サッカー全国大会にママさん?”

そんな声もまだまだあるが、昨年秋第12回大会に兵庫代表として選抜チームが出場した。

単独チームの出場は今まであったが、選抜チームとしては初出場。結果は1勝1敗で決勝トーナメント進出はならなかったが、今回優勝の広島と対戦できたことは大きな収穫となった。

1999年3月選抜成時は苦労もあったが、普段県リーグでは対戦相手の選手同士、チームを越えた繋がりを持て、ライバル同士で練習を重ねた結果“アジュール兵庫”として、大会に出場できたことが良かったと言う。

少年サッカーで頑張る息子に影響されてサッカーを始めたメンバーがほとんどだが、メンバーの中には少女時代からサッカーチームに所属し、両親を指導者に持つサッカー一家もいる。

“サッカー経験はなかったけれどまだ息子には負けられない!”と頑張る元気なお母さん達と少年少女サッカーの関係は深い。

選抜監督の浅野正倫氏(59)は女子委員長として18年間県リーグを運営し、神戸市在住選手を中心に活躍するママさんサッカーを永年支えてきた。

“お母さん達が頑張っているんだから、私達ももっと頑張らなくちゃ、と若い選手の励みになれば!”とサッカーボー少女がもっと増え、女子サッカー、神戸のサッカー、サッカー全体が新世紀に大きく発展することを期待している。

“おかあさん!一緒にサッカーしてみませんか?”

☆次回は4種委員会へスルーバス!☆  
(文責:S-F)

## お問い合わせ・資料請求

**06-6633-3351**

株式会社 ニチレク まで



**NICHIREKU 株式会社 ニチレク**

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋4丁目2番15号 パーク日本橋2F

TEL 06-6633-3351(代) FAX 06-6633-7051

●大阪府知事登録旅行業 第2-1465号

●全国旅行業協会会員

合宿 <http://www.kansai.ne.jp/nitireku/>

e-mail: nitireku@silver.ocn.ne.jp

スキー <http://www.nichireku.com>

e-mail: info@nichireku.com

# 神戸市サッカー協会ホームページ 2001年1月1日開設!!

ホームページアドレス : <http://www.kobe-fa.gr.jp/>

The screenshot shows the homepage of the Kobe Football Association (KOBE FOOTBALL ASSOCIATION OFFICIAL SITE). The header features the logo '神戸のサッカー' (Kobe Soccer) and a background image of a soccer field. The main content area is divided into several sections: 'ニュース・トピックス' (News & Topics), '組織の概要' (Organization Overview), '年間スケジュール' (Annual Schedule), '施設概要' (Facility Overview), and 'リンク集' (Link Collection). To the right, there are lists of committee members for various age groups: '社会人 (1種委員会)', 'フットサル委員会', '高校・U-18 (2種委員会)', '技術委員会', '中学・U-15 (3種委員会)', '審判委員会', '小学校・U-12 (4種委員会)', '医事委員会', '女子委員会', and '規律・フェアプレイス委員会'. At the bottom, there are logos for 'VISSEL KOBE' and 'powered by FC JAPAN', along with a copyright notice: 'Copyright (C) 2000 KOBE FOOTBALL ASSOCIATION. All rights reserved.'

## べんちさいじ



☆あれこれサポーター 募集!

☆まめ記者・自慢のフォト・お宝紹介etc…

あなたのアイディアをお待ちしています。

連絡は神戸市サッカー協会広報委員会まで。

## うつか~る~む

☆編集後記

10年振り(?)リニューアルデビューの広報紙。年4回発行予定で、IT時代に伴いホームページ(毎週更新予定)と併せて、広報することになりました。

サッカー愛好家がもっともっと増える事を願い、皆様のご理解ご協力よろしくお願い申し上げます。(fixer-F)

Enjoy!  
**Coca-Cola**

Trademark Regd.

近畿コカ・コーラボトリング株式会社  
<http://www.kinki.ccbe.co.jp>